

記載例

別記様式第4号

経 歴 書 (1)

ふりがな	やまなし たろう	生年月日 (就任時現在)
氏 名	山 梨 太 郎	昭和34年 3月31日 (56歳)
最 終 学 歴 (学 位)	山梨大学大学院総合研究部博士課程〇〇専攻修了 博士 (〇〇学) (山梨大学〇〇〇第□□□号)	
現 住 所	山梨県甲府市武田4丁目4番地37号	自署によること
現 職 (始 期)	△△大学〇〇学部教授 (平成15年7月)	
年 月 ~	年 月	学 歴 (高卒以上)
S 49 4 ~	S 52 3	山梨県立■■■高等学校普通科卒業
S 52 4 ~	S 56 3	△△大学〇〇学部□□学科卒業
S 56 4 ~	S 58 3	□□大学大学院△△研究科修士課程●●専攻修了
S 58 4 ~	S 61 3	▲▲大学大学院◆◆研究科博士課程〇〇専攻満期退学
年 月 ~	年 月	職 歴
S 61 4 ~	S 62 3	▲▲大学××センター 博士研究員
S 62 4 ~	S 63 9	株式会社◇◇◇◇ 常勤研究員
S 63 10 ~	H 2 3	◆◆◆研究所 常勤研究員
H 3 4 ~	H 15 9	▲▲省□□局××課長
H 15 10 ~	H 18 12	△△大学〇〇学部□□講座 准教授
H 19 1 ~		△△大学〇〇学部□□講座 教授 現在に至る
その他特記事項		

記入については、本様式 (A4版) による。氏名欄は自署によること。

経 歴 書 (2)

氏 名	山 梨 太 郎		
年 月	賞 罰		
平成 17	11	〇〇学会××賞受賞	自署によること
平成 23	1	文部科学大臣〇〇賞受賞	
管理・運営経験と内容（項目ごとに箇条書き・10項目以内）			
<ul style="list-style-type: none"> ・◆◆◆研究所 〇〇チーム・リーダー（平成1年4月～平成2年3月） リーダーとして、〇〇の研究開発を牽引し、・・・・・・を成し遂げた。 ・▲▲省□□局××課長（平成8年4月～平成10年3月） 課長として、・・・・・・に寄与した。 ・〇〇学会会長（平成19年7月～平成21年3月） 会長として、学会の円滑な運営に努めた。 ・△△大学〇〇学部 学部長兼任（平成24年4月～現在） 学部長として、〇〇〇〇や××××等の成果をあげた。 			

記入については、本様式（A4版）による。氏名欄は自署によること。

経 歴 書 (3)

氏 名	山 梨 太 郎	
研究上の業績（代表的な著書・論文10編以内・年代の新しい順） 【著書・論文は、「名称，著者名，共著／単著，発表年月日，発行所等の名称」の順に記載】		
1. 日本における××の現状と課題，山梨太郎，単著，2013年10月，〇〇大学出版会， 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10.		
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">自署によること</div>		
<u>主な業績数合計（上記を除く）：</u> 論文 件、著書 件、総説・解説等 件		
その他の業績（社会貢献に係る業績、職務上の業績等（特許等を含む）・10項目以内・年代の新しい順）		
1. 山梨県〇〇審議会委員として、県内の××の向上に寄与した。(H24.4～現在) 2. △△経済団体において、～～に関する〇〇講演を行った。(H16.10) 3. ▲▲省□□局において、……の政策決定に携わった。(H7.10～H9.3) 4. ◆◆◆研究所において、××に〇〇として携わり、△△に貢献した。(H1.7～H2.3) 5. 株式会社◇◇◇◇において、××の開発に〇〇として関わり、△△を達成した。(S62.10～S63.3) 6. 7. 8. 9. 10.		
<u>主な業績数合計（上記を除く）：</u> 特許 件		

記入については、本様式（A4版）による。氏名欄は自署によること。